

子ども議会開催



住んでいる地区の歩道に、でこぼこがたくさんあって、何度か転びそうになったことがあります。歩道を整備する予定があるか教えてください。

大和田 建設部長

報告を受けた危険箇所は、歩行者の安全を確保するため、早急な対応をしています。また、街路樹の根が、歩道の舗装面にひびを入れながら、「でこぼこ」状態にさせていることがあります。根を取り除くと街路樹が枯れたり風で倒れたりする恐れがあるため、簡単に対処できない場合があります。



真壁小の校舎は老朽化していて、東日本大震災の影響で、南校舎3階が使用できません。危険な状況だと思っています。真壁小新校舎建設の計画はないのでしょうか。

梅井 教育長

校舎の補修は完了し、耐震強度は震災で被害を受ける以前の状態に回復しています。今後、急激に子どもの数が減ると予想されるので、学校同士が一緒になって学習や生活することを検討しています。その中で真壁小小学校の校舎について話し合い、考えていきます。

生徒数が少なくなり、来年度からは、1クラス減ると聞きました。このような状況をどのように考え、また、今後どのような子育て支援策を進めていくのか教えてください。



長堀 保健福祉部長

子どもの数が減少すると、子どもの健やかな成長への影響が懸念されます。市では、出産や子育てに伴う経済的負担の軽減や、子育てと就労の両立支援など、子どもを安心して産み、子育てに大きな喜びを実感できる環境づくりを進めています。



上野沼は、遊歩道が壊れていたり、危険な場所があり、また、「やすらぎの里」は、遊具などが少なく、しかも壊れているものがあります。整備の予定はありますか。また、観光アピールする組織はありますか。

森 経済部長

壊れたところは直して危険な場所がないよう管理しています。遊具は、壊れたままでは危険なため、現在は、撤去しています。また、市の商工観光課や観光協会が観光スポットとして魅力をアピールしています。



医療福祉費支給制度は中学3年生までが対象のため、卒業したら不安です。収入を得ることが難しい高校3年生までに、対象を広げていただけませんか。

小松崎 市民生活部長

平成24年度に中学校3年生までの年齢拡大を実施したところであり、それ以上の対象者拡大には新たな財政負担が必要となるため、将来的に財源確保が可能であるかが一番の課題となります。今後は、県内他市町村の状況を踏まえて検討をしていきたいと考えています。



私の住んでいる地区には、下水道が完備されていません。どのような下水道整備計画がありますか。また、今、維持するために、年間どのくらいの経費がかかりますか。

館野 上下水道部長

議員の地区は、公共下水道が整備される予定区域の中に位置していますが、公共下水道の全体整備には、多額の費用と長い工事期間が必要となります。また、公共下水道施設の汚泥処理などにかかる費用の負担金として、約2億円を負担しています。

他の市町村では、小学校の合併が進んでおり、桜川市でも小中学校の統廃合を進めているようです。統廃合によって、小学校がなくなった時には、その跡地と校舎はどうなりますか。



市塚 総務部長

統合等により、跡地となった場合は、校舎や校庭の利用方法について、施設の状況や地域の皆様のご意見を参考に、地域を元気にするために、有効に使えるよう決めていきたいと思っています。



大雨の際に、岩瀬東区で桜川の水が増水し、道路まで影響が出ています。最近は激しい雷雨もあり、非常に心配です。そこで、桜川市の増水対策についてお聞きます。

井上 副市長

桜川を管理する茨城県や流域の市と連携して、計画的に大規模な河川改修に取り組んでいます。この工事にはたくさんの費用と長い期間が必要です。それまでの間に河川が増水して、道路や橋を通行することが危険な状況になった時は、直ちに通行止めの措置を行います。



「子ども議会」の議長をつとめます、岩瀬東中学校3年 仲田 遥香です。一生懸命努めたいと思います。よろしくお願いします。



8月6日、市役所岩瀬庁舎の市議会議場を会場に、市内16の小中学校児童生徒22人が参加した「子ども議会」が開催されました。これは、社会体験学習の一環として行われたもので、子どもたちが議会を体験することで、市政の仕組みや議会活動を理解し、社会の一員としての意識を深めてもらおうと、市・市教育委員会・市議会、岩瀬・常陸大和・真壁ライオンズクラブの共催で行われました。子どもたちは、議長1人と議員21人に分かれ、市議会と同じように議案を進め、市長はじめ市執行部に質問や提言などを述べました。その質疑応答の内容をご紹介します（順不同）。なお、紙面の都合上、内容を一部省略しています。



私たちが議員のみなさんの質問に答えました。